

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書	
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項	
【提出先】	関東財務局長	
【提出日】	平成25年5月15日	
【四半期会計期間】	第24期第1四半期（自平成25年1月1日至平成25年3月31日）	
【会社名】	株式会社ネットワークバリューコンポネンツ	
【英訳名】	Network Value Components Ltd.	
【代表者の役職氏名】	代表取締役 渡部 進	
【本店の所在の場所】	神奈川県横須賀市小川町14番地 - 1	
【電話番号】	046(828)1800（代表）	
【事務連絡者氏名】	取締役アドミニストレーション部 ディレクター	寺田 賢太郎
【最寄りの連絡場所】	神奈川県横須賀市小川町14番地 - 1 ニッセイ横須賀センタービル	
【電話番号】	046(828)1804	
【事務連絡者氏名】	取締役アドミニストレーション部 ディレクター	寺田 賢太郎
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）	

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第23期 第1四半期連結 累計期間	第24期 第1四半期連結 累計期間	第23期
会計期間	自平成24年 1月1日 至平成24年 3月31日	自平成25年 1月1日 至平成25年 3月31日	自平成24年 1月1日 至平成24年 12月31日
売上高(千円)	608,645	628,882	2,664,521
経常利益(千円)	44,195	55,908	123,504
四半期(当期)純利益(千円)	43,314	25,312	109,959
四半期包括利益又は包括利益(千円)	40,095	33,788	146,492
純資産額(千円)	179,595	319,780	285,991
総資産額(千円)	1,473,777	1,439,528	1,468,576
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	4,589.87	2,682.26	11,651.94
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	11.5	22.2	19.5

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。なお、株式会社セーブルネットワークスは当第1四半期連結会計期間において清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済情勢は、新政権による経済・金融政策に対する期待感から、円安・株高基調に推移しましたが、实体经济への影響は明確ではなく、先行き不透明な状況で推移しました。

ネットワーク市場におきましては、標的型攻撃、DDoS攻撃等の新たな脅威やスマートフォンやタブレット端末の普及やクラウドサービスの進展によるIPトラフィック等の増加等、ネットワーク上での様々な課題に対する取り組みが着実に進展しております。

このような状況の中、当社グループは、セキュリティ、モバイル、クラウド、サービスの4分野に重点を置き、各種展示会への出展、セミナーの開催や、代理店網の整備に着手するなど、積極的な展開を行いました。また、新規事業であるコンテンツ配信分野の展開にも引き続き取り組みました。

売上高は、当社は前年同期を若干下回って推移したものの、子会社の㈱イノコスでの大型案件の出荷により、前年同期を上回りました。

利益面につきましては、従業員の増加等の要因により販売費及び一般管理費は増加しましたが、㈱イノコスの売上総利益での貢献により、営業利益及び経常利益は前年同期を上回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は628,882千円（前年同四半期比3.3%増）、営業利益は60,244千円（前年同四半期比24.3%増）、経常利益は55,908千円（前年同四半期比26.5%増）、四半期純利益は25,312千円（前年同四半期比41.6%減）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	32,000
計	32,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成25年3月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年5月15日)	上場金融商品取引所名又 は登録認可金融商品取引 業協会名	内容
普通株式	9,521	9,521	東京証券取引所 (マザーズ)	当社は単元株制 度を採用してお りません。
計	9,521	9,521	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成25年5月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年1月1日～ 平成25年3月31日	-	9,521	-	369,981	-	386,231

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年12月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 84	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,437	9,437	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	9,521	-	-
総株主の議決権	-	9,437	-

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(株)ネットワークバ リューコンポネン ツ	神奈川県横須賀市 小川町14番地 - 1	84	-	84	0.88
計	-	84	-	84	0.88

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年1月1日から平成25年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人五大による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	248,406	243,327
受取手形及び売掛金	436,321	427,280
有価証券	-	31,000
商品	106,595	111,482
仕掛品	1,725	3,150
原材料及び貯蔵品	28	19
前渡金	47,550	37,101
繰延税金資産	40,280	29,535
その他	21,578	18,270
貸倒引当金	20	53
流動資産合計	902,465	901,112
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	26,368	25,495
車両運搬具(純額)	477	358
工具、器具及び備品(純額)	78,558	83,312
その他(純額)	1,658	1,498
有形固定資産合計	107,063	110,664
無形固定資産		
のれん	222,491	194,679
その他	15,698	17,198
無形固定資産合計	238,190	211,878
投資その他の資産		
投資有価証券	147,912	128,902
長期貸付金	57,000	72,000
その他	54,873	61,406
貸倒引当金	38,928	46,436
投資その他の資産合計	220,857	215,873
固定資産合計	566,111	538,415
資産合計	1,468,576	1,439,528

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	146,663	103,081
短期借入金	252,000	289,500
1年内返済予定の長期借入金	84,858	90,569
前受金	324,059	286,480
未払金	94,677	92,303
未払法人税等	2,263	11,997
賞与引当金	-	5,846
その他	46,491	28,691
流動負債合計	951,012	908,468
固定負債		
長期借入金	193,518	169,008
資産除去債務	7,017	7,048
繰延税金負債	29,969	34,324
その他	1,067	898
固定負債合計	231,572	211,279
負債合計	1,182,584	1,119,748
純資産の部		
株主資本		
資本金	369,981	369,981
資本剰余金	386,231	386,231
利益剰余金	512,740	487,428
自己株式	7,433	7,433
株主資本合計	236,038	261,350
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49,953	57,870
その他の包括利益累計額合計	49,953	57,870
少数株主持分	-	559
純資産合計	285,991	319,780
負債純資産合計	1,468,576	1,439,528

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
売上高	608,645	628,882
売上原価	317,525	323,097
売上総利益	291,120	305,785
販売費及び一般管理費	242,662	245,541
営業利益	48,457	60,244
営業外収益		
受取利息	596	210
固定資産賃貸料	1,944	2,077
その他	422	96
営業外収益合計	2,963	2,383
営業外費用		
支払利息	3,017	2,179
為替差損	3,194	4,365
その他	1,012	174
営業外費用合計	7,225	6,719
経常利益	44,195	55,908
特別利益		
固定資産売却益	-	319
特別利益合計	-	319
特別損失		
固定資産売却損	298	-
投資有価証券評価損	-	308
貸倒引当金繰入額	-	7,500
特別損失合計	298	7,808
税金等調整前四半期純利益	43,897	48,419
法人税、住民税及び事業税	3,825	11,830
法人税等調整額	0	10,716
法人税等合計	3,826	22,547
少数株主損益調整前四半期純利益	40,070	25,872
少数株主利益又は少数株主損失()	3,243	559
四半期純利益	43,314	25,312

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	40,070	25,872
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	25	7,916
その他の包括利益合計	25	7,916
四半期包括利益	40,095	33,788
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	43,339	33,229
少数株主に係る四半期包括利益	3,243	559

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

株式会社セーブルネットワークスは当第1四半期連結会計期間において清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 当座貸越契約について

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行1行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
当座貸越限度額の総額	100,000千円	100,000千円
借入実行残高	15,000	60,000
差引額	85,000	40,000

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
	(千円)	(千円)
減価償却費	17,633	13,377
のれんの償却額	27,754	27,811

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

当社グループは、ネットワーク関連商品の輸入、開発、販売、サポートとサービス及びネットワークインテグレーションを主要な事業内容としており、単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額	4,589円87銭	2,682円26銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	43,314	25,312
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	43,314	25,312
普通株式の期中平均株式数(株)	9,437	9,437
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年5月13日

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ
取締役会 御中

監査法人 五大

指定社員
業務執行社員 公認会計士 高木 勇三 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 手塚 眞佐子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ネットワークバリューコンポネンツの平成25年1月1日から平成25年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年1月1日から平成25年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ネットワークバリューコンポネンツ及び連結子会社の平成25年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しています。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。